弔　辞

○○○○○○協会を代表して故○○○○○氏の霊に謹んで一言お別れの言葉を申し上げます。

あなたは昭和○年京都大学経済学部をご卒業後同年四月○○○○株式会社に入社され、それ以来一貫して人事、労政業務に従事せられ、戦後の激動する経済情勢下に於ける極めて困難な労政問題に心中を賭して取組まれ、幾多の苦難を克服して今日の堅実な労使関係の基盤を確立され、社業の発展に寄与せられた功績はまことに大きなものがありました。

昭和○年には○○○株式会社分離設立と共に人事部長に就任せられ、昭和○年には取締役、その後常務取締役を経て昭和五十三年には専務取締役に就任せられ、今日の輝かしい社業の発展に寄与されましたことに対して、私共は心から敬服申し上げております。

あなたは人となり温厚にして誠実、内に近代的教養を備え、常に多くの人々より敬愛されておりました。昭和○年には○○○前社長あとを受継がれて○○○株式会社の社長に就任されてからも従業員の方々の尊敬を一身に集められ、今後一層そのご活躍が期待されておりましたところ、この度突然思いがけぬ訃報に接し、私共は驚きと共に深い悲しみに打たれております。

またご遺族をはじめ従業員の方々、先輩、友人の皆様のお悲しみもいかばかりかと、お慰めの言葉もございません。

今、あなたを失ったことは誠に痛恨に堪えません。

本日、告別の式に当り、業界一同を代表して○心より謹んで深く哀悼の意を表する次第でございます。

平成○年○月○日

○○○○○協会
会長　○○○○○